

執筆者紹介（執筆順、*は編者）

*平良好利（たいら・よしとし） はしがき、第6章、第7章

1972年 沖縄県生まれ。

2008年 法政大学大学院社会科学部研究科博士後期課程修了。博士（政治学）。

現在 中京大学総合政策学部准教授。

著作 『戦後沖縄と米軍基地——「受容」と「拒絶」のはざままで 1945～1972年』法政大学出版局、2012年。

『対話 沖縄の戦後——政治・歴史・思考』共編、吉田書店、2017年。

『戦後沖縄の政治と社会——「保守」と「革新」の歴史的位相』共編、吉田書店、2022年。

*櫻澤 誠（さくらざわ・まこと） 序章、第2章

1978年 新潟県生まれ。

2008年 立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士（文学）。

現在 大阪教育大学教育学部准教授。

著作 『沖縄現代史——米国統治、本土復帰から「オール沖縄」まで』中央公論新社（中公新書）、2015年。

『沖縄観光産業の近現代史』人文書院、2021年。

『戦後沖縄の政治と社会——「保守」と「革新」の歴史的位相』共著、吉田書店、2022年。

黒柳保則（くろやなぎ・やすのり） 第1章

1971年 愛知県生まれ。

2000年 愛知大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学。

現在 沖縄国際大学法学部教授、同大学沖縄法政研究所長。

著作 『奄美戦後史』共著、南方新社、2005年。

『沖縄県議会史 第二巻 通史編2』共著、沖縄県議会、2013年。

『沖縄県史 各論編 第七巻 現代』共著、沖縄県教育委員会、2022年。

秋山道宏（あきやま・みちひろ） 第3章

1983年 沖縄県生まれ。

2017年 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。

現在 沖縄国際大学総合文化学部准教授。

著作 『基地社会・沖縄と「島ぐるみ」の運動——B52 撤去運動から県益擁護運動へ』八朔社、2019年。

『大学で学ぶ沖縄の歴史』共編、吉川弘文館、2023年。

『増補版 つながる沖縄近現代史——沖縄のいまを考えるための十五章と二十のコラム』共編、ボーダーインク、2025年。

野添文彬（のぞえ・ふみあき） 第4章

1984年 滋賀県生まれ。

2012年 一橋大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。

現在 沖縄国際大学法学部教授。

著作 『沖縄米軍基地全史』 吉川弘文館、2020年。

『沖縄県知事——その人生と思想』 新潮社、2022年。

『大田昌秀——沖縄の苦悶を体現した学者政治家』 中央公論新社（中公新書）、2025年。

*小松 寛（こまつ・ひろし） 第5章、第7章

1981年 沖縄県生まれ。

2013年 早稲田大学社会科学部研究科博士後期課程修了。博士（学術）。

現在 早稲田大学文化構想学部准教授。

著作 『日本復帰と反復帰——戦後沖縄ナショナリズムの展開』 早稲田大学出版部、2015年。

『沖縄県史 各論編 第七巻 現代』 共著、沖縄県教育委員会、2022年。

『沖縄が問う日本の安全保障』 共著、岩波書店、2015年。